

番号	課名
B - 1	市民課

事務事業名	交通安全施設整備事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅶ-21-51	交通安全対策の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市民の市道通行時の安全の確保	
	関連施策名(施策コード)	Ⅵ-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進

事業内容(経緯)	市内には、幅員が狭く車向と歩行者の距離が近い道路、見通しの悪い交差点やカーブなど、通行に危険な箇所が多くあります。そのため交通安全施設に対する要望は毎年多く寄せられているのが現状です。本事業は、市民の安全確保のために、その要望に基づき市道などにカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設を設置するものです。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	設置箇所数	施設の設置を行った箇所数	箇所	21	28	21	21	31
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	交通安全施設1件当たりの設置費用					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	年間工事費/年間設置箇所数				
	9,111	11,051	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			428.3	321.2	427.5	421.6	356.4

事業対象	道路利用者	今年度の成果	令和6年度は、31箇所にてカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設を設置したことで、交通安全性を向上させることができ、重大事故の未然防止及び再発防止を図りました。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	要望に応じた安全性の向上	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	交通安全施設整備による安全性の向上		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	交通事故の未然防止		千円	9,909	8,993	8,979	9,111

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	重大な交通事故の防止を図り、併せて円滑な道路交通や安全性の向上につなげることができている。また、現地(道路の線形、状態)を確認したうえで、最も効率的かつ効果的に安全を確保できる規格で交通安全施設の設置を行っている。				

事業の問題・課題	新規要望の件数が多く、なかには事業規模が大きいものもあり、緊急性・優先度が高い箇所以外は、実施するまでに数年かかっています。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 中	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
B - 2	部落差別解消推進・人権啓発課

事務事業名	男女共同参画推進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚
	施策の課題(事務事業の実施目的)	男女共同参画に関する教育・啓発の充実を図り、人権意識の向上をめざす	
	関連施策名(施策コード)	VI-21-53	虐待(DV・子ども・高齢者・障がい者)予防・対策

事業内容(経緯)	男女共同参画の推進のため、講演会やセミナー、パープルリボン(女性に対する暴力をなくす運動)等の各種啓発事業、方針決定の場への女性登用率の向上やDV相談対応等に取り組みました。また本市を取り巻く経済・社会情勢の変化に対応するため、計画期間を前倒し第3次臼杵市男女共同参画基本計画を策定しました。策定に際しては、推進懇話会を5回開催し、5回のうち1回は、若者の意見反映を目的に、臼杵高校生徒会の皆さんとワークショップを行いました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	推進懇話会実施回数	推進懇話会の開催回数 市民との連携・協働の取組を検討	回	3	3	3	4	5
②	企業・公共機関啓発の訪問件数	訪問件数	件	73	71	73	70	60
③	審議会等における女性の登用	女性委員/全審議会委員	%	31.8	29.4	33.6	36.0	36.5
④	男女共同参画セミナー回数	セミナー開催実数	回	4	3	4	5	5

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	男女共同参画講演会の参加者1人当たりのコスト					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/参加者数 (少数点以下第1位四捨五入)				
	4,620	5,670	内容	男女共同参画推進費	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源					5,312	14,000	9,189

事業対象	市民、団体、事業所	今年度の成果	R5の講演会は、コロナ禍が明けてすぐの開催(R5.6月)だったことや会場(野津中央公民館)の関係で、参加者の呼びかけを制限していましたが、R6の講演会は参加者数の(会場:市民会館)の制限を設けず、様々な団体への広報・周知等の呼びかけをしたため、参加者数が増えました。
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	男女共同参画講演会の参加者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	講演会の参加人数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	講演会参加により啓発効果が見込まれるため	人	中止	中止	263	330	617

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率が低い	R5の意識調査及び若者の意見を取り入れた計画を策定することができました。引き続き講演会やセミナー等、あらゆる場面で様々な機会を活用して啓発活動を行ってほしいものの、コロナ禍明けにおいて、講演会等の取組への参加状況が、団体によっては減少傾向にあり、新たな手法を取り入れながら市民への啓発を強化していく必要があります。

事業の問題・課題	近年、性別に関係なく個性と能力を発揮できる男女共同参画の視点を取り入れた地域づくりが求められています。男女共同参画の推進は幼児教育の段階から発達に応じた教育の充実や家庭教育による意識の醸成が重要です。従来の手法に加え、新しい手法も取り入れながら、市民への啓発をさらに強化して行く必要があります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 3	部落差別解消推進・人権啓発課

事務事業名	人権・部落差別問題啓発事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-16-35	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
	施策の課題(事務事業の実施目的)	部落差別解消推進法の効果的な周知及び関係機関と連携した人権啓発	
	関連施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚

事業内容(経緯)	臼杵市部落差別解消推進・人権教育啓発推進協議会や臼杵市人権擁護委員等、関係機関・団体と連携し、大規模講演会、企業・団体・地域の研修、企業啓発訪問など、あらゆる機会を通じて、啓発や学習の場に継続して参加していただくことによって、市民の人権尊重意識の高揚に努めます。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	人権・部落差別問題講演会(8月)の参加者	講演会参加人数	人	-	-	342	504	624
②	人権問題講演会(12月)の参加者	講演会参加人数	人	-	300	263	471	429
③	企業・団体研修会の開催回数	研修会実施回数	回	12	30	28	30	37
④	企業・公共機関啓発の訪問件数	訪問件数	件	73	71	73	70	60

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	大規模講演会や各校区の中規模講演会の参加者1人当たりのコスト					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/参加者数(少数点以下第1位四捨五入)				
	5,561	10,586	内容	人権啓発推進事業費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	県支出金			74,341	7,795	4,971	4,485	6,730

事業対象	市民、団体、事業所	今年度の成果	コロナ禍が明け、企業等への啓発は昨年度に続いて訪問(対面)して実施ができ、人権擁護委員等と連携して直接説明することにより、啓発効果が上がりました。その結果、企業や団体の研修実施回数の増加に繋がっています。
------	-----------	--------	--

成果指標	指標名	大規模講演会や各校区の中規模講演会の参加者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	8月・12月講演会・校区規模の地域交流講演会の参加者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	人権尊重意識が高まると、講演会・学習会に出向く市民が増えると考えため	%	85	721	1235	1240	1573

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	コロナ禍が明け、企業等への啓発は昨年度に続いて訪問(対面)して実施ができ、人権擁護委員等と連携して直接説明することにより、啓発効果が上がりました。その結果、企業や団体の研修実施回数の増加に繋がっています。				

事業の問題・課題	今年度実施した「臼杵市人権・部落差別問題に関する市民意識調査」では、「今の日本は人権が尊重されていないと思う」「人権問題に関心がない」と回答した人が、5年前の前回に続いて、ともに約2割ありました。あらゆる差別や人権問題の解消には、市民一人ひとりに関心を持ってもらうことが重要となりますので、インターネット上の人権侵害や性的少数者をめぐる人権問題などの新たな人権課題や、学習意欲のある人権問題に関する啓発事業を実施して効果的に取り組む必要があります。また、企業や団体への働きかけを続け、多くの市民に講演会やイベント会場に来ていただくことが大切です。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
B - 4	環境課

事務事業名	広域ごみ処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(ごみ)広域処理の検討	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	臼杵地域での可燃ごみ処理を焼却施設のある大分市との協定に基づき竹田市、由布市を含めた4市で広域処理しています。野津地域では、一般廃棄物の全てを豊後大野市との協定に基づき処理しています。また、ごみの減量化に向け、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典等の広報・啓発活動を行いました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	可燃ごみ処理量(臼杵地域)	大分市への可燃ごみ搬入量	t	9,172	9,058	8,985	8,410	7,936
②	ごみ処理量(野津地域)	豊後大野市へのごみ搬入量	t	1,610	1,497	1,472	1,489	1,425
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	ごみ 1t当たりの処理費用(千円)				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/ごみ処理量			
	237,686	238,350	内容	委託料、負担金等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			19.2	20.9	23.0	24.0	25.5

事業対象	市民・事業者	今年度の成果	ごみ減量化に対する市民への普及啓発として、臼杵地域では、ごみ収集カレンダーに、ごみにまつわるクイズや情報等を掲載しました。令和6年度のごみ処理量は9361tで、前年度比5.4%減少しました。
------	--------	--------	---

成果指標	指標名	広域ごみ処理に係る経費	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	大分市、豊後大野市の清掃工場運営管理費等		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。		千円	207,320	220,462	240,302	237,686

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正にごみを処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。4R(リフューズ:発生回避、リデュース:減量、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)等への意識醸成を促すことで、ごみの減量が図られ、経費の削減につながると考えます。4Rについて現状の課題を把握し、対策を検討する必要があります。				

事業の問題・課題	ごみを排出する側の分別意識の向上や理解、協力が不可欠です。また、清掃工場の長寿命化のための大規模改修などにより、ごみの減量化が図られたにも関わらず経費が膨らむ可能性もあります。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 5	環境課

事務事業名	廃棄物処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	限られた予算で効果的に老朽化の進んでいる清掃センターの施設を維持・管理・運営する	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	ごみ処理施設の適正な管理運営に努め、処理体制の充実を図り、環境に配慮しながら、ごみ処理施設の長寿命化を図る事業です。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	ごみ処理量(臼杵地域)	搬入されたごみの量	t	7,462	7,182	7,065	6,616	6,252
②	最終処分場からの排水の水質	河川へのダイオキシンの排出濃度(国基準:10pg-TEQ/L 以下)	pg-TEQ/L	0.000016	未検出	未検出	未検出	0.000038
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	ごみ処理単価(1kg当たり、単位円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	ごみ処理に要する経費÷ごみ処理量				
	161,893	190,685	内容	工事費等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源、地方債			20.0	22.4	23.0	24.5	30.5

事業対象	臼杵地域の市民、事業者	今年度の成果	施設整備工事について11か所実施しました。また、老朽化の進んだ3tパッカー車を1台更新しました。
------	-------------	--------	--

成果指標	指標名	臼杵地域の人口一人当たりのごみ発生量(kg)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	ごみ発生量/人口		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	客観的に一人につき、年間どれくらいごみが発生量しているか把握するため	千円	247	242	243	230	222

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	市報やごみカレンダー等を通してごみ削減の啓発活動を実施していますが、人口一人当たりのごみ発生量が減少傾向にあり、着実に改善されてきています。資源ごみとして活用できるものが可燃ごみに混ざっていることがあるため、資源化率向上に対する周知・徹底をしていく必要があります。

事業の問題・課題	ごみ削減のためにごみカレンダーやごみ分別事典や市報、清掃センターでの見学会等を通して啓発活動を根気よく継続していく必要があります。しかしながら、市民の分別意識や理解が得られないこともあり、このような啓発活動の効果が一過性にとどまりやすい可能性も新たな啓発方法を考える必要がある。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 6	環境課

事務事業名	し尿処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(ごみ)広域処理の検討	
	関連施策名(施策コード)	VI-18-43	生活排水処理対策・浸水対策の推進

事業内容(経緯)	公共下水道終末処理場の施設を使用して、臼杵地域の汲取りし尿、浄化槽汚泥を共同処理する事業です。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	前処理施設処理量	前処理施設へのし尿等搬入量	kℓ	12,728	12,663	12,804	12,759	12,672
②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	し尿等 1kℓ当たりの処理費用(千円)				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/し尿等処理量			
	40,242	33,108	内容	委託料等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			4.4	3.1	2.8	3.1	2.6

事業対象	臼杵地域の市民・事業者	今年度の成果	設備改良工事により、効果的な施設維持管理が行えるようになったため、し尿処理施設を新設することなく、経費の節減を図ることができました。し尿処理事業経費は33,108千円で、前年度比-17.7%削減しています。
------	-------------	--------	---

成果指標	指標名	し尿処理事業に係る経費				単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	し尿等前処理施設の運転管理費等					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。				千円	56,481	39,038	35,984	40,242	33,108

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正に、し尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。行政資源量に合った効果はあるものの、平成17年6月竣工した施設の物理的な不具合を直すだけでなく、機能や能力を長期間維持させるために計画的な修繕等の対応が必要となります。

事業の問題・課題	施設稼働後10年以上経過しており、今後修繕費等経費の増加が懸念されます。
----------	--------------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 7	環境課

事務事業名	広域し尿処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(ごみ)広域処理の検討	
	関連施策名(施策コード)	VI-18-43	生活排水処理対策・浸水対策の推進

事業内容(経緯)	豊後大野市との協定に基づき行っている、野津地域のし尿処理事業です。野津地域のし尿処理は、「白鹿浄化センター(豊後大野市)」にて豊後大野市と共同で処理を行っています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	し尿処理量	豊後大野市へのし尿搬出量	kℓ	1,815	1,803	1,907	1,803	1,840
②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	し尿等 1kℓ当たりの処理費用(千円)				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/し尿等処理量			
	41,888	27,990	内容	委託料、負担金等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			11.1	13.7	17.7	22.0	14.4

事業対象	野津地域の市民・事業者	今年度の成果	主要設備の老朽化等施設維持管理に伴う経費増加が予想される中、事業運営を可能な限り効率的かつ効果的に進めるため、また、将来的な広域し尿の在り方について検討するために、豊後大野市と協議・検討を行いました。
------	-------------	--------	--

成果指標	指標名	広域し尿処理に係る経費	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	豊後大野市の白鹿浄化センター運営管理費等		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。		千円	21,291	26,084	35,537	41,888

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。施設の長期間維持及び更なる経費節減に向けて委託先である豊後大野市と検討を行います。	

事業の問題・課題	白鹿浄化センターは平成15年3月より稼働しており、主要設備の老朽化等により、令和元年に大規模改修を行っています。現在、臼杵地域は、終末処理場内のし尿前処理施設において特例的に処理できていますが、将来的には、臼杵・野津の両地域の処理の一元化や脱炭素化への貢献を果たす処理方法も視野に検討していく必要もあると思われます。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 8	環境課

事務事業名	各種リサイクル事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	ごみの分別方法等の啓発を通して再資源化(リサイクル)出来るものは積極的に資源の有効活用をする	
	関連施策名 (施策コード)	Ⅶ-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進

事業内容 (経緯)	循環社会形成推進基本法、容器包装リサイクル法などの各種リサイクル法に基づき、ごみの減量化とリサイクルを推進しています。各品目ごとにリサイクル業者への委託による処理(圧縮・梱包等)、再生処理業者への引き渡し、資源として売却等の処理をしています。
--------------	---

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①	再資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル)	処理業者引渡量	t	201	202	189	191	174
②	再資源化量(紙類・缶及びその他金属・自転車)	処理業者引渡量	t	787	719	630	555	508
③	再資源化量(ガラス瓶・蛍光管・乾電池・電気製品)	処理業者引渡量	t	238	203	278	224	216
④	有価ごみ(古紙・金属)売払収入	有価ごみを資源として業者に売却する金額	千円	15,364	25,195	29,500	23,688	24,974

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		コスト指標 (単位当たりの費用)	指標名	資源化するために必要な経費(圧縮・梱包等) (1kg当たり、単位円)				
	前年度 (R5)	当該年度 (R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	(資源化に要する経費-有価ごみ売払収入)÷ 資源化量				
	63,057	69,370	内容	委託料		数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
			財源	一般会計財源			32.5	26.2	32.1	40.5	49.4

事業対象	臼杵地域の市民	今年度の成果	ごみとして排出された総量約6,252tの内、約899tを再資源化(リサイクル)することが出来ました。
------	---------	--------	--

成果指標	指標名	ごみの資源化率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	資源化量/全ごみ搬入量		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
	指標設定の理由	ごみとして排出されるもので再資源化(リサイクル)される割合を客観的に把握するため		%	16.46	15.67	15.54	14.69

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	ごみの中から再資源化可能なものを積極的にリサイクル・有価ごみ収入とすることが出来ました。令和5年度の総資源化量に比べ令和6年度の総資源化量は20%減となり、ごみの資源化率が減少傾向にあります。人口減少に加え、特に古紙類については、デジタル化で紙の使用量が減少していること、地区によっては民間の回収ボックス等による回収が増え、市のごみステーションに出される古紙類の量が年々減少傾向にあることが主たる要因だと考えられる。今後も次の世代に貴重な資源を引き継いでいくことの重要性和分別の徹底を継続的に啓発する必要があります。				

事業の問題・課題	資源化するために要する経費について人件費の高騰などにより増加傾向にあります。また、本事務事業の効果については、デジタル化による紙の使用量自体が減少している点や民間の回収ボックス等による回収率増など、外部要因や市の処理を介さない資源ごみ回収率の高まりなど、今後における事務事業の方向性が見極めや効果の検証などが難しくなっています。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 9	環境課

事務事業名	清掃センター周辺環境整備事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	「健康寿命を延ばすための取り組み」を主な目的に、「市民の健康づくり」「高齢者の生きがいづくり」「スポーツ振興」「コミュニティづくり」を推進するためのパークゴルフ場の整備	
	関連施策名(施策コード)	I-3-6 V-13-29	高齢者の生きがいづくりへの支援 スポーツで健康づくり・体づくり

事業内容(経緯)	平成16年に閉鎖された旧不燃物最終処分場については、「閉鎖後の跡地及び周辺環境については、多目的広場及び公園等として整備を行う。」という地元との契約に基づき、令和2年1月、地元より正式に「パークゴルフ場の整備」について要望が提出されました。この要望を受け、跡地利用については地元との約束を履行しつつ、市民の健康づくり、高齢者の生きがいづくり、地域の活力創生等に資する施設としてパークゴルフ場を整備することとしました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	パークゴルフ場整備費用	施設整備費用	千円	2,310	14,676	102,508	179,927	12,779
②	運営及び利活用に関する協議(累計)	地元及び愛好者団体、関係団体との協議	回	3	4	6	10	14
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	説明・算式・引用	数値の推移				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計			R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	202,497	50,196	内容	パークゴルフ場施設整備	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	財源	地方債・使用料・一般財源										

事業対象	全市民及び市外のパークゴルフ愛好者 ※市内に関しては、特に健康増進を目的とした市民	今年度の成果	未施工であった付帯工事、及び追加で設置した屋外喫煙室等も完工し、パークゴルフ場における全ての施設整備が完了したため、芝の生育状況を見つつ、令和6年9月1日に正式オープンを迎えることができました。オープンより令和6年度中の来場者数は8,268人となり、当初に想定していた3,850人を大きく上回る結果となりました。
------	--	--------	--

成果指標	指標名	パークゴルフ場整備進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	各年度の整備進捗率(現在の進捗月数/全工程月数)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	パークゴルフ場の設備完成が目的であるため		%	100.00	38.46	60.00	86.67

評価	有効性	効率的性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率的性が低い	有効性:パークゴルフを通して健康づくり、生きがいづくり等を推進することによって、市民の健康寿命を延ばすことに繋がると考えます。オープン以来予想以上の来場者数で推移しておりさらに期待が高まります。 効率的性:長年の地元との約束の履行という側面を持つ施設の整備であるため、コスト等の効率のみで計ることのできる性質の事業ではありませんが、他の施策とタイアップすることにより間接的に、医療費削減等相乗効果が期待できます。

事業の問題・課題	オープンより多くの方に来場いただいておりますが、市の中心市街地や観光地から離れた場所に立地しているため、そういった場所からの誘引をどうするか、また、パークゴルフをプレーする以外の来場者が楽しめるような取組みを検討し、さらに魅力ある施設にしていけることが求められます。ただし、プレーされる方の人数が多すぎて混雑するとコース上の流れが滞り、支障が生じるというジレンマもあります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	見直し 事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。